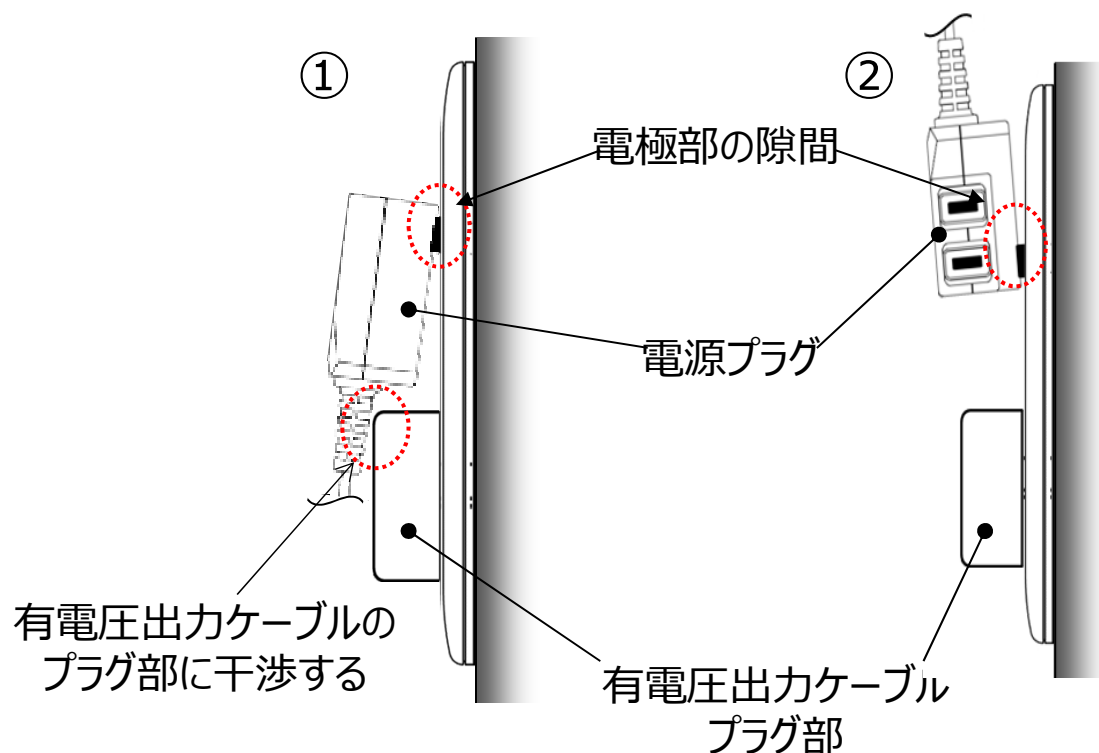


ガス当番LPガス用 有電圧出力型 既設ガス当番(プラグ式) ⇒ SH1275(コード式)へ お取替えいただく際のご注意点

既設品がSH1275発売前のプラグ式で、有電圧出力ケーブルを用いてプラグイン式からコード式に交換している状況でSH1275に交換する場合には注意が必要です。

SH1275の電源プラグ形状変更に伴い、WN1909に電源プラグを差し込むと有電圧出力ケーブルに干渉し電極部に隙間が生じてしまう。
(下図①)

それを回避するためにコード部を上側に取り付けると、コード自重で同様に電極部に隙間が生じる可能性がある。(下図②)



したがって、電源端子－コンセント間の隙間は埃の堆積等と合わせて火災の原因ともなるため対策が必要となります。

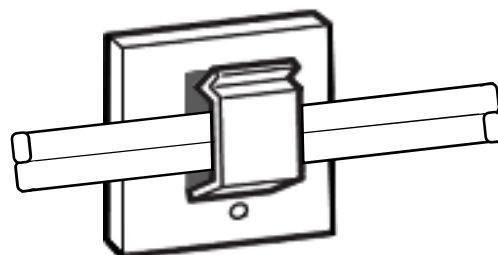
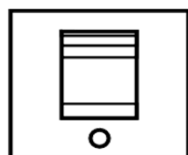
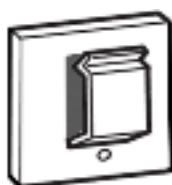
次頁を参照し、現場に応じた対策を選択、実施する必要があります。

対策1．電源コードの固定（有電圧出力ケーブル使用の場合）

電源コード側を上にしてプラグを接続する。

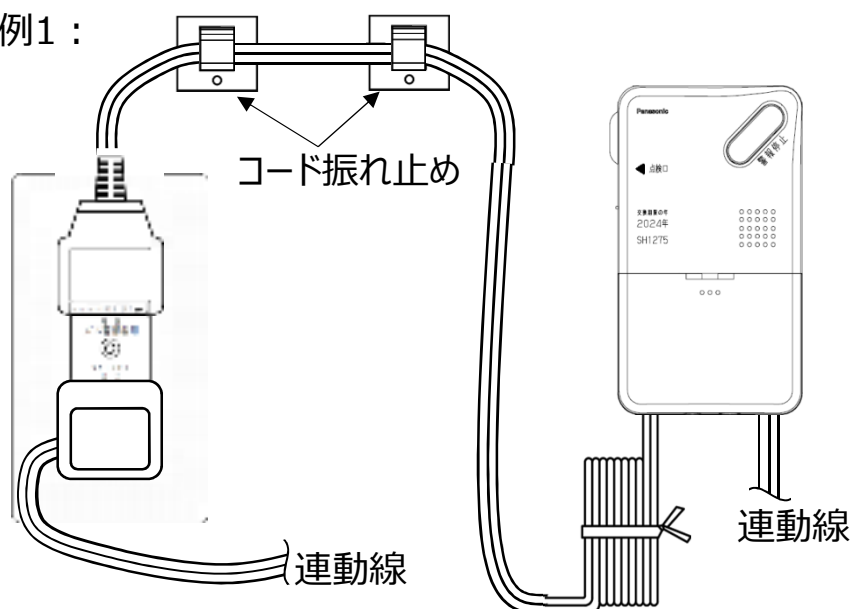
付属のコード振れ止めや市販のモールで電源コードを固定しプラグ部に荷重がかからないようにする。

釘やステープル(“コ”の字型の釘)はコードを傷つける可能性があるため使用しないこと。

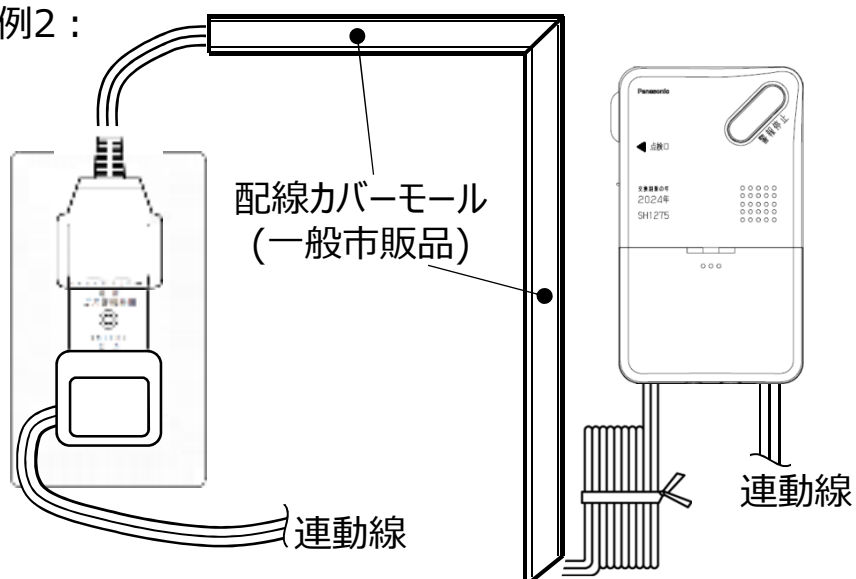


コード振れ止め
(SH1275付属品 2個付属)

取付例1：



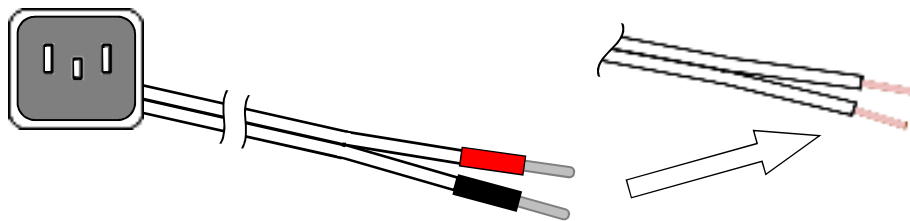
取付例2：



また、有電圧ケーブル先端には棒端子が圧着されているがSH1275の速結端子には適合しない。

そのため棒端子を切断し、電線状態にして速結端子に接続する。
ただし、電線状態では極性がわからないので棒端子切断前に極性をマークしておくこと。

- ・有電圧出力ケーブル(SH12742050)仕様
：棒端子：φ1.9mm／使用電線：0.75mm²
- ・ガス警報器（SH1275）速結端子適用電線
：単線：φ0.65～1.2mm／より線0.5～1.0mm²



対策2. 通電チップに変更（有電圧出力ケーブル撤去の場合）

有電圧ケーブルを撤去し、通電チップを用いて連動信号線を引き出す改修を行う。

なお、連動線は単線：φ0.65～1.2mm または 撚り線0.5～1.0mm²のいずれかを使用すること。

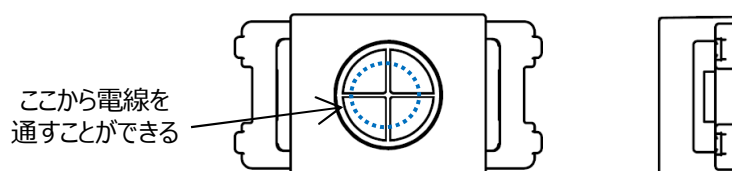
専用コンセント(WN1909)の外部出力端子部を通電チップ交換し信号線を引き出す。

信号線自体は圧着延長し、警報器の信号端子に接続する。

延長用電線は警報器の信号端子接続条件に合わせる。

通電チップ：WN3025SW

WN3700等の枠に取付、壁面裏から配線を引き出すために使用される。



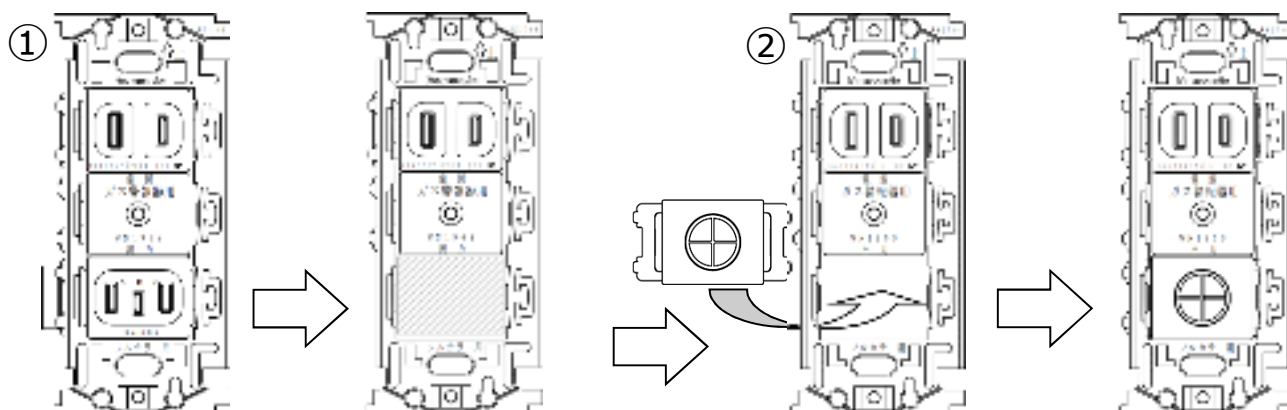
- ①専用コンセント(WN1909)を壁面から取り外し、外部出力端子部を取り外す。

基本的に、電源線には触れないこと。有資格者においては作業判断に依存する。

出力端子には極性があるので信号線を外す際には端子－電線接続状態を控えておくこと。

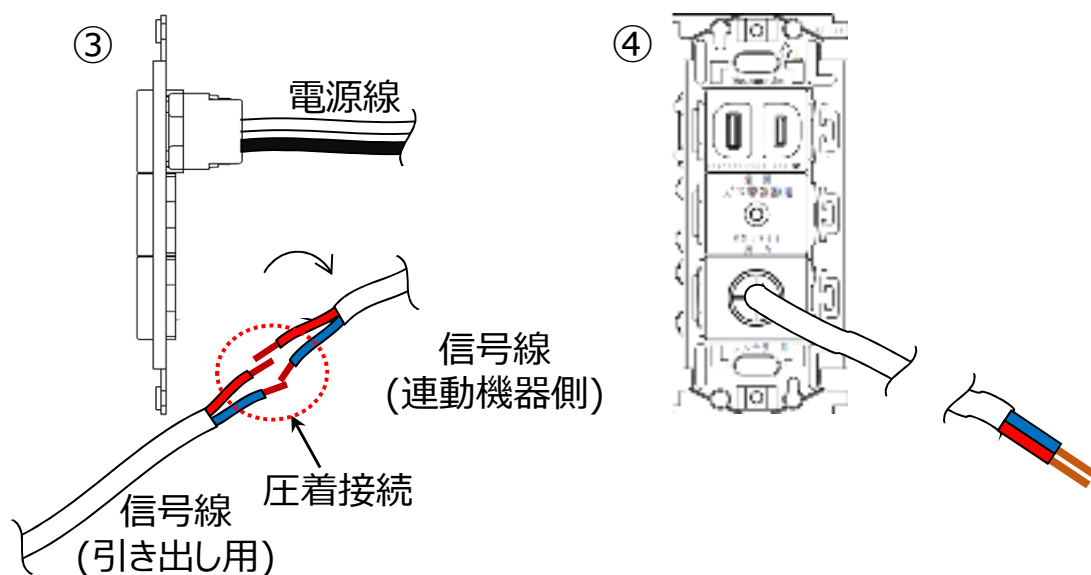
A端子：+ / C端子：- / B端子：未使用

- ②外部出力端子を取り外したところへ通電チップを取り付ける

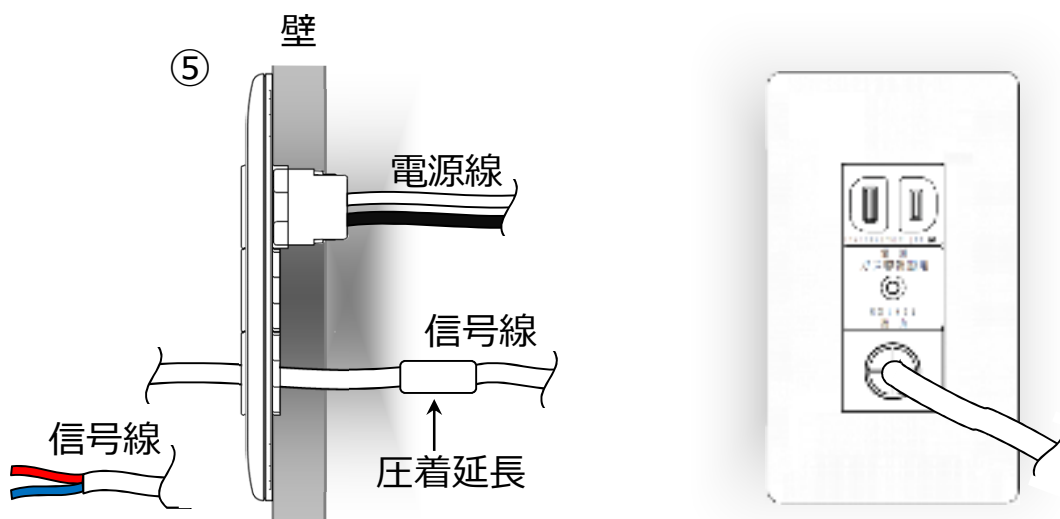


③外部出力端子から外した信号線を圧着延長する。
圧着延長(引き出し用)に使用する電線種は、取り付けるガス警報器の
信号線接続端子に適合するもの選択すること。

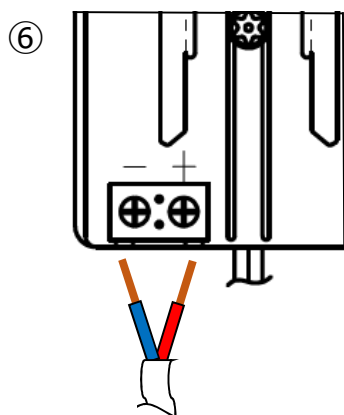
④信号線を通電チップから引き出す。



⑤専用コンセントを壁面に戻しプレートを装着する。



⑥信号線をガス警報器に接続する。極性に注意すること。



⑦ガス警報器の施工説明書に従って金具、本体を取り付けし、電源プラグを差し込む。

